かちまいスポーツ

田部・佐々木組全国へ

全道高体連 バドミントン

（13、14日・北ガスアリーナ札幌46）

第2日と最終日に個人戦男女のダブルス（複）とシングルス（単）を行った。北北海道で男子学校対抗準優勝の帯大谷勢は、複で田部時生・佐々木一成組（3年・2年）が準優勝しインターハイ（7月30日～8月4日・佐賀県）出場を決めた。女子は十勝出身選手が活躍し、北北海道の複決勝は中島優衣奈（旭川商3年・帯一中出）井上紗彩（同3年）組と藤川千愛（同2年・同中出）山本希乃花（同2年）組の同校対決となり中島・井上組が優勝。両ペアは全国出場権利を得た。女子単では杉野冬花（旭川実2年・帯一中出）が北北海道で準優勝し、インターハイ出場を決めた。

帯大谷 決勝惜敗 見えた課題

【北北海道・男子複決勝】第2ゲーム、相手コートにスマッシュを打ち込む帯大谷の田部時生（右）と佐々木一成（奥）組（金野和彦撮影）

北北海道男子複で準優勝し全国出場を決めた帯大谷の田部時生（3年、右）と佐々木一成（2年）組（金野和彦撮影）

北北海道男子複決勝に臨んだ帯大谷の田部時生・佐々木一成組は、優勢に試合を進めたが、旭川実ペアの粘りに敗れた。

田部は1ゲーム目の序盤からトリックショットで得点するなどセンスを発揮。先にゲームポイントを得たがジュースに持ち込まれ23―25で落とした。

第2ゲームも田部が組み立て佐々木が強襲して11―6でインターバル。そのまま20―17と先にゲームポイントに達したが、ネットや枠外へのシャトルが増えて敗れた。

相手の川田光太・中塩爽太組（3年）とは初日の団体戦でも対決し点差が開いたまま0―2で敗れた。リベンジを狙う試合だったが堅守を崩せなかった。

田部は佐々木を「最後の1点を取るタイミングで萎縮してしまった。自分も縮こまって普段取っている羽根を取れていなかった」、佐々木は「時生さんにいい展開をつくってもらえて、気持ちよく打つことができたが勝ち切れなかった」。

相澤俊彰監督は「広く使わなきゃいけない場面で縮こまってしまった部分があった。インターハイまで残り2カ月でやれることを全部やって、1勝を目指そう」と指導。田部は「一成が気持ちよく打てる球を相手に上げさせるように技術を強化したい」、佐々木は「レシーブを強化しつつ、ドライブ戦をもっと磨いて、攻撃のパターンを増やしていきたい」と意気込んだ。

中島組V 藤川組2位総体へ

帯一中出 旭川商

男子複は北北海道の三本木蓮・今野隼稀組（帯大谷3年）が準決勝で同校の田部・佐々木組に敗れて4強。木村友翔・竹村怜斗組（同1年）は準決勝で旭川実の優勝ペアに敗れて4強だった。南北海道の佐藤杏介（札幌龍谷2年・帯一中出）西根羽琉（同3年）組も4強に入った。

女子複は北北海道で及川沙来杏・片山咲弥組（帯大谷3年）が8強。石田朱里・武下亜美組（帯南商3年）と愛澤琉衣・横山奈都美組（帯緑陽3年・2年）、船木優花・大久保百佳組（同3年）はいずれも2回戦で敗退。

北北海道の男子単では佐々木が8強、田部と下廉次郎（帯柏葉3年）が2回戦で敗れた。女子単は中島が準優勝の杉野に準決勝で敗れて4強、片山、武下が8強、内田千智（帯三条2年）と石原綾弓（帯大谷3年）は2回戦で敗退した。

（松崎篤嗣）

女子学校対抗と個人戦複で全国出場を決めた旭川商の中島優衣奈（3年、右、帯一中出）と藤川千愛（2年、左、同）＝金野和彦撮影

中島「団体も個人も8強を」 藤川「スタミナつけていく」

○…北北海道の女子複は同じ帯一中出の中島優衣奈（3年）と藤川千愛（2年）がそれぞれ別のペアで勝ち進み、インターハイ出場を決めて決勝に進出した。

中島は2年連続の全国出場。準決勝で旭川実勢、決勝で同校対戦を2―0で制した。「上からのショットをパターン多めに打つことができて、パートナーもやりやすかった。目標は全国8強。団体戦で勝って勢いをつけ、個人戦でも上を目指したい」と意気込む。

藤川は旭川支部予選で負けた同校3年生ペアを準決勝で破った。「ずっと攻めることができた」。決勝ではその疲れが出た。初のインターハイに向けて「個人戦も団体戦もあるので、スタミナが切れて最後まで戦えないみたいなことにならないよう、体作りからやっていく」と話していた。

先輩と対決 杉野 帯一中出 準V

旭川実

ラリー力もっと インターハイ初出場へ

○…北北海道女子個人戦単の準決勝で杉野冬花（旭川実2年）は、北栄小、帯一中で先輩だった中島優衣奈（旭川商3年）と対決。序盤から強打やネット際の羽根で揺さぶりをかけて圧倒し初のインターハイ出場を決めた。試合後には互いの健闘を笑顔でたたえ合った。

決勝では3年の栗栖優月との同校対決。旭川支部予選では勝利していたが、ラリー力やメンタル面で安定せず0―2で敗れ、試合後には悔し涙を見せた。「インターハイの出場を決められたのは良かったけど、悔しい。ラリー力をもっとつけたい」と強化を誓った。

【北北海道・女子単準決勝】ポイントを奪い、気迫を見せる旭川実の杉野冬花（2年、手前、帯一中出）＝金野和彦撮影

最初から全力

北北海道男子単2回戦敗退・下廉次郎（帯柏葉3年）の話　団体戦で負けた旭川実の選手（今回優勝選手）が相手だったが最初から全力を出せるよう意識した。厳しめの球を狙った結果ミスも多かった。意外に短い2年半だった。

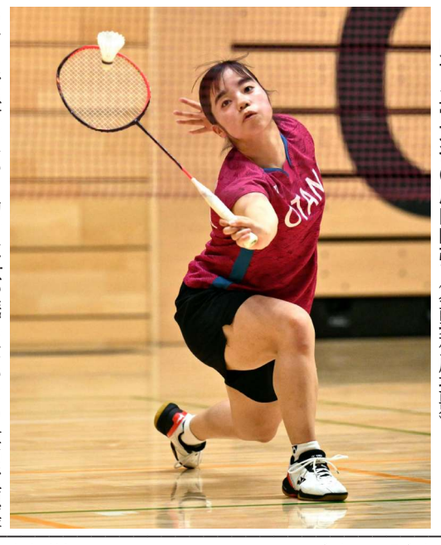
武器使えた

同女子単8強・片山咲弥（帯大谷3年）の話　攻める時に攻められたし、自分の武器のスマッシュやカットを使った展開もできていた。後輩たちには、周りの支えを忘れないで一つ一つ全力で頑張ってほしい。

【北北海道・男子単2回戦】力強いスマッシュを放つ帯柏葉の下廉次郎（金野和彦撮影）

悔しい

同・武下亜美（帯南商3年）の話　悔しい。相手を奥に押し込みスマッシュやカットで決めにいく動きはできていたが、前に落とされた羽根を取れなかった。後輩たちには、最後に後悔が残らないよう全力で頑張ってほしい。



【北北海道・女子単準々決勝】ネット際の攻防を見せる帯大谷の片山咲弥（金野和彦撮影）

【北北海道・女子単準決勝】シャトルに食らいつく帯南商の武下亜美（金野和彦撮影）

※決勝と関係分

〈個人戦ダブルス〉（13日）

【男子】◇北北海道▽1回戦
木村友翔・竹村怜斗（帯大谷）2―0 丹野遥太・伊藤優希（中標津）
山内柾・新井遥人（帯工）2―0 菖蒲田幸汰・高橋隼颯（釧路湖陵）
▽2回戦
田部時生・佐々木一成（帯大谷）2―0 小山田佳樹・松本心太郎（旭川実）
三本木蓮・今野隼稀（帯大谷）2―0 小林陵平・山崎翔叶（旭川北）
川田光太・中塩爽太（旭川実）2―0 山内・新井
▽準々決勝
田部・佐々木（帯大谷）2―0 渡部圭人（武修館）
三本木・今野（帯大谷）2―1 対木隼祐・対木慎哉（白糠）
木村・竹村 2―1 水谷純稀・住吉鉄平（旭川実）
▽準決勝
田部・佐々木 2―0 三本木・今野
川田・中塩 2―0 木村・竹村
▽決勝
川田・中塩 2―0 田部・佐々木
◇南北海道▽2回戦
佐藤杏介（帯一中出）・西根羽琉（札幌龍谷）2―0 丹羽驍・後藤瑛翔（大谷室蘭）
▽準々決勝
佐藤・西根 2―1 澤口郁弥・岩渕悠斗（北海）
▽準決勝
佐藤楓起・菅原陸翔（札幌龍谷）2―0 佐藤・西根
▽決勝
佐藤・菅原 2―1 高津翔太・山岸秀悠（札幌北斗）
◇全道決勝
川田・中塩 2―0 佐藤・菅原

【女子】▽1回戦
石田朱里・武下亜美（帯南商）2―0 春川未羽・小泉娃璃（稚内大谷）
船木優花・大久保百佳（帯緑陽）2―0 石黒萌音・銅住千秋（標茶）
▽2回戦
中島優衣奈（帯一中出）・井上紗彩（旭川商）2―0 石田・武下
芹澤弥徠・佐藤鼓柊（旭川実）2―1 愛澤琉衣・横山奈都美（帯緑陽）
小國二葉・本田理央奈（旭川商）2―0 船木・大久保
及川沙来杏・片山咲弥（帯大谷）2―0 猪口萌絵・高井夢己（根室）
藤川千愛（帯一中出）・山本希乃花（旭川商）2―0 土谷莉央・藤山彩名（滝川西）
▽準々決勝
佐藤・菅原 2―0 天神ゆずき・中村茉那（根室）
中島・井上 2―0 丹羽・後藤瑛翔（大谷室蘭）
▽準決勝
中島・井上 2―0 芹澤・佐藤（小國・本田）
藤川・山本 2―0 藤川・山本
▽決勝
中島・井上 2―0 藤川・山本
◇南北海道▽決勝
齋優涙・原田夏帆（とわの森）2―0 菊池叶愛・長根香凛（札幌静修）
◇全道決勝
齋原田 2―0 中島・井上
三愛 2―0 藤川・山本

【男子】◇北北海道▽1回戦（14日）
水谷純稀（旭川実）2―0 木村友翔（帯大谷）
下廉次郎（帯柏葉）2―0 小松本悠真（網走南ケ丘）
▽2回戦
佐々木一成（帯大谷）2―0 坂口明斗（滝川西）
豊嶋優心（旭川商）2―0 田部時生（帯大谷）
川田光太（旭川実）2―0 下
▽準々決勝
中塩爽太（旭川実）2―0 佐々木
▽決勝
川田 2―1 中塩
◇南北海道▽決勝
津川祐太（北海）2―0 山岸秀悠（札幌北斗）
◇全道決勝
津川 2―0 川田

【女子】▽1回戦
内田千智（帯三条）2―0 古舘由羽（滝川）
武下亜美（帯南商）2―0 中條結空（稚内大谷）
中島優衣奈（旭川商・帯一中出）2―0 富川莉良（北見柏陽）
▽2回戦
山本希乃花（旭川商）2―0 内田
片山咲弥（帯大谷）2―0 佐野里々花（網走桂陽）
杉野冬花（旭川実・帯一中出）2―0 松下姫香（釧路商）
武下 2―0 長野恋羽（北見藤）
中島 2―1 石原綾弓（帯大谷）
▽準々決勝
栗栖優月（旭川実）2―0 片山
杉野 2―0 武下
中島 2―0 坪内蘭（武修館）
▽準決勝
杉野 2―0 中島
▽決勝
栗栖 2―0 杉野
◇南北海道▽決勝
江川舞星（札幌北斗）2―0 橋本芽生（とわの森三愛）
◇全道決勝
江川 2―0 栗栖

文科大臣杯 あさ野球

雨天で順延 あす試合再開

軟式野球の第70回文部科学大臣杯あさ野球大会の16日の試合は雨天のため順延した。17日に再開する。

〈17日の試合〉（午前5時試合開始）
▽南町A＝tobachi―まんぼうクラブ
▽南町B＝マテック―ワーク・ボーイズ
▽南町C＝SWATT―レイド

写真がほしい▼0120・25・9410　ファクス▼0155・25・2700
著作権などにより販売できない写真もあります　Eメール▼sports@kachimai.co.jp
電子版に複数写真